

平成 29 年 5 月 29 日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 平成 29 年度特別支援学級の状況について ●

～内容～

特別支援学級及び情緒障がい通級指導教室の現状と、対象児童数の急増問題への対応と課題を調査するもの

～質疑～

問： 情緒障がい通級指導教室は指導者 2 名で 48 名を担当しているとのことだが、少ないのではないか。

答： 1 対複数名の指導が可能であるため現在はこの人数で対応しているが、国が示しているのは 1 人当たり 13 人であり、状況に応じ要望を上げていきたい。

問： 特別支援学級等に通うのは医者診断書がいるのか。

答： 特別支援学級等に入級するためには、保護者側と学校側と医者側との 3 者の意見がそろわないと必要な指導支援を受けることができない。専門委員で構成される教育支援委員会で判定を行う。

問： 特別支援学級等に通う保護者の意見は届いているのか。

答： 適切な支援を行うにあたり保護者との連携は必須であるので、意見をお伺いする場を持ちたい。また特別支援教育推進センターきらりでも保護者の面談を随時受け付けているので、何かあったら相談をしていただきたい。

● 総社市教育振興基本計画について ●

～内容～

第 2 次総社市教育振興基本計画策定に向けて、具体的な計画等を調査するもの

～質疑～

問： 子どもにも意識を高めてもらえるように、わかりやすい言葉で子ども版も作成してはどうか。

答： 教育振興基本計画は計画として冊子にするとともに、子ども版や概要版なども作成していく。

問： 命の教育ともいえる性教育についてはどう考えているか。

答： 授業の中で適切な教育ができるよう教員の人材育成を行うこと、外部講師を招聘することなども検討し、計画の中に取り入れていく。

● (仮称) 総社市手当について ●

～内容～

保育人材等の確保を図ることを目的とし、市内私立保育施設等に勤務する保育士等に年額2万円を支給するもの

～質疑～

問：保育士へ手当を渡すことで保育士不足は解消されると考えているか。

答：他市町村で保育士手当が支給されており、まずは第一段階として手当を支給する。待遇や仕事の内容など、給料以外の処遇改善についても考えていく。

問：今後もずっと2万円で行くのか。

答：財政的な部分も鑑みながら効果を見ていき、検討していく。

● 健康インセンティブ事業について ●

～内容～

現在は1万円キャッシュバック事業と健康マイポイント事業を行っているが、これらについて見直しを行い、平成30年度からインターネットを活用し歩くことに重点を置いた新たな健康インセンティブ事業を実施しようとするもの

～質疑～

問：1年間でのポイントの計算だと、歩くという目標を継続するのは難しいのではないか。

答：ポイントについては、月単位での付与を考えている。また、体重の変化の数値を見える形にすることやオペレーターから参加者への励ましなどで、継続できる方法を検討中である。

問：対象者は20歳以上とあるが根拠は何か。生活習慣病などが増える40歳以上などにしてはどうか。逆に、成人病予備軍のいる小学生の参加についてはどうか。

答：実際には40歳以上の方の参加が多いと見込まれるが、若い世代から健康に目を向け取り組んでほしいため20歳以上としている。また、チームでの参加は家族での参加もできるので、小学生以上についても検討する。

当局からの報告事項

● 新認定こども園について ●

～内容～

井尻野幼稚園及び総社保育所については設備等の老朽化が進んでおり、施設を維持するためには耐震補強等が必要となるが、この2施設の機能を合わせ、保育ニーズの多様化に対応するために保育の弾力的な運用ができる施設として認定こども園を整備しようとする旨、報告を受けました。

● 新学校給食調理場について ●

～内容～

(仮称)学校給食センターの建設の現状について、平成28年12月に業者を選定しており、地元での説明会でいただいた意見を設計に組み込ませているところであり、今年度は造成工事及び排水工事を行う予定である旨、報告を受けました。

● (仮称)常盤第2分館について ●

～内容～

(仮称)常盤第2分館の建設の現状について、平成28年に用地買収を行い、平成29年1月に設計委託を発注し、地元で構成された設立準備委員会で間取り等を検討しているところであり、6月議会で造成工事、8月議会で建設工事の予算を計上する予定である旨、報告を受けました。

● 日本遺産の結果について ●

～内容～

「赤米の郷～神宿る山・森・神社と伝え継がれた最古の米～」の日本遺産の認定申請を行っておりましたが、4月に結果が公表され、不認定となった旨、報告を受けました。

● 小学校ライスカレー応援金について ●

～内容～

小学校ライスカレー応援金の仕組みは、1個300円の小学校版ライスカレーを購入する

ことにより1個につき20円がその名前を冠した小学校に還元されることでその小学校を応援できるというもので、平成28年度の実績について報告を受けました。

● 保育園入所状況・今後の見通しについて ●

～内容～

総社市では平成29年4月1日で待機児童はゼロになったが、今後入園希望者数が増加していくことが予測されるので、保育士確保策の実施、幼稚園の預かり保育の更なる充実、新認定こども園の整備などの取り組みをしていく予定である旨、報告を受けました。